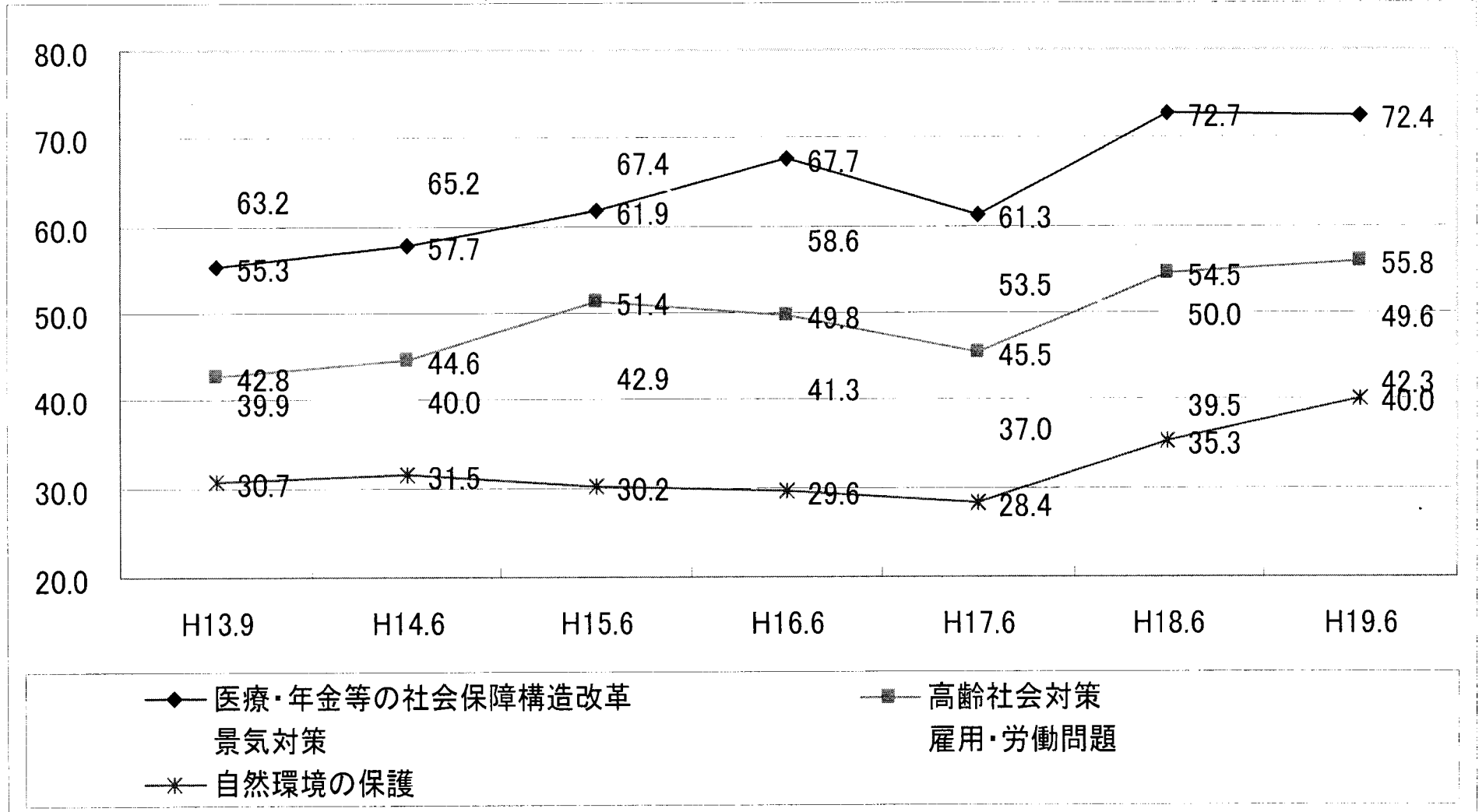


社会保障国民会議中間報告 参考資料

社会保障に関する関心について

資料1

○ 標記調査によれば、政府に対する要望として一番関心が高いものは、「医療・年金等の社会保障構造改革」であり、次いで「高齢社会対策」「景気対策」「雇用・労働問題」となっている。



(出典) 国民生活に関する世論調査(平成19年6月 内閣府大臣官房政府広報室)

平均寿命の国際比較

資料2

○我が国の平均寿命は男性79歳、女性が86歳であり、世界の中でも最も高い。

国	平均寿命(年)				国	平均寿命(年)			
	男	順位	女	順位		男	順位	女	順位
ブラジル	67	21	74	19	フランス	76	12	83	3
カナダ	78	2	83	3	ドイツ	76	12	82	9
アメリカ合衆国	75	15	80	17	イタリア	78	2	84	2
中国	70	19	74	19	オランダ	77	8	81	14
インド	61	23	63	23	ノルウェー	77	8	82	9
イスラエル	78	2	82	9	ポルトガル	74	17	81	14
日本	79	1	86	1	ロシア	59	24	72	22
韓国	73	18	80	17	スペイン	77	8	83	3
マレーシア	69	20	74	19	スウェーデン	78	2	83	3
シンガポール	77	8	82	9	スイス	78	2	83	3
パキスタン	62	22	63	23	イギリス	76	12	81	14
フィンランド	75	15	82	9	オーストラリア	78	2	83	3

資料：WHO「The World Health Report 2006」
順位は、ここに挙げた24の国における平均寿命の長い順。

主要国の保健衛生をとりまく状況

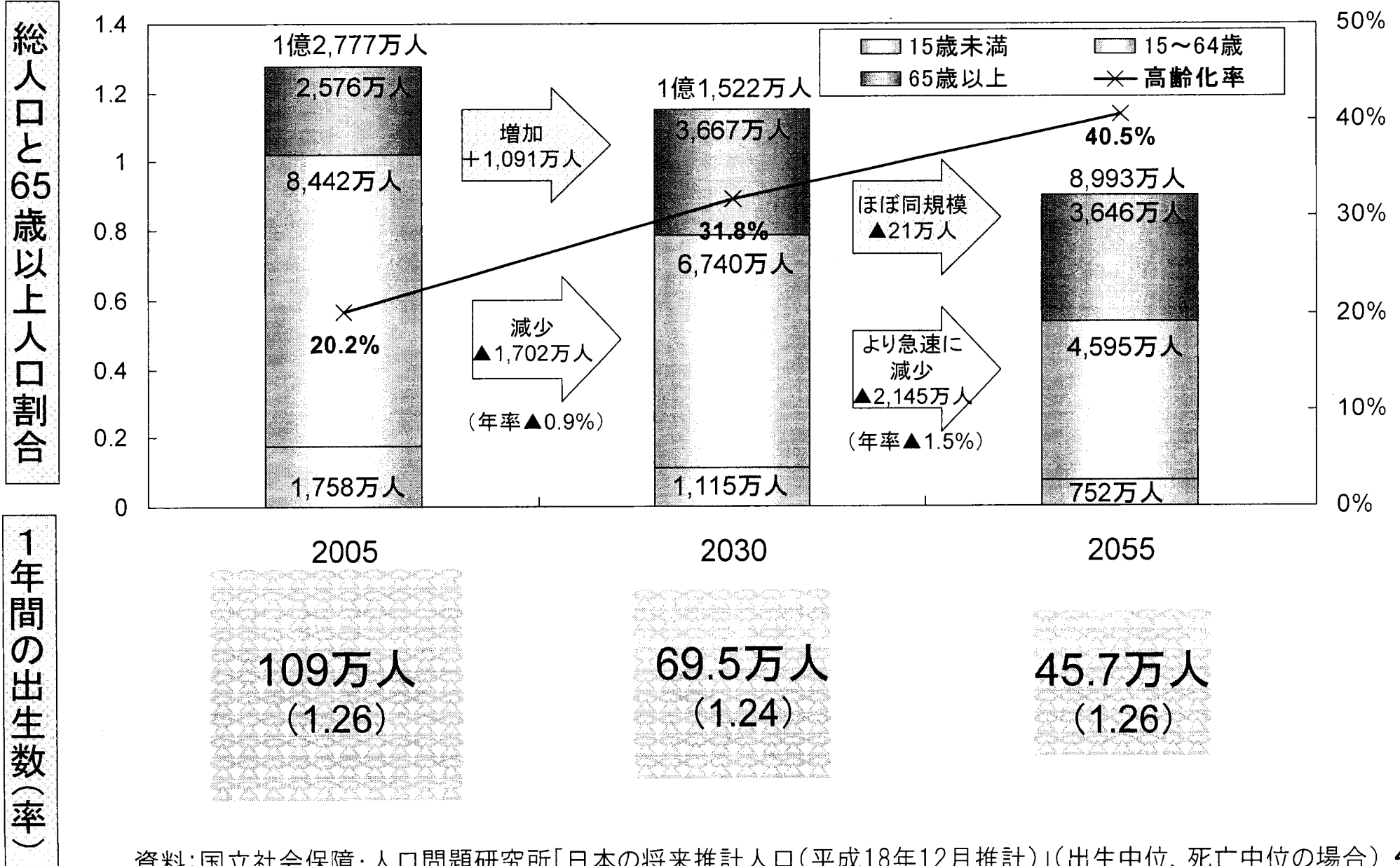
	人口千人当たり 臨床医数 ※1	一人当たり 外来受診回数 (2004)※1	乳児死亡率 (2004)※1	平均寿命		健康寿命		WHO総合評価 (2000)※3
				男性 (2004)※1	女性 (2004)※1	男性 (2002)※2	女性 (2002)※2	
日本	2.0人	1位	1位	3位	1位	1位	1位	1位
イタリア	3.8人	-	11位	-	-	6位	5位	11位
フランス	3.4人	9位	8位	11位	2位	13位	5位	6位
ドイツ	3.4人	7位	11位	16位	15位	11位	8位	14位
アメリカ	2.4人	18位	25位	18位	20位	22位	22位	15位
イギリス	2.4人	15位	21位	11位	18位	16位	19位	9位
カナダ	2.2人	13位	22位	6位	8位	8位	8位	7位

出典：※1 OECD Health Data 2007、男性の平均寿命1位はアイスランド

※2 WHO

※3 WHO 「世界保健報告2000」による保健衛生システムの目標達成度の評価

今後の急速な少子・高齢化の進行 ～日本の将来推計人口(平成18年12月推計)～



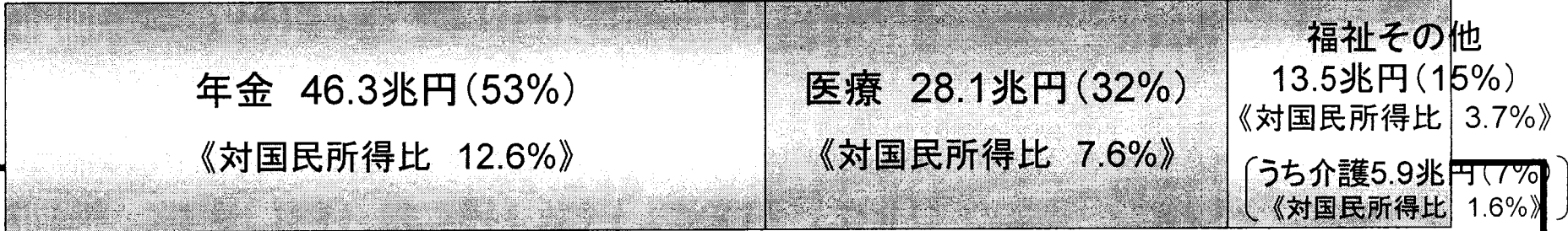
資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」(出生中位、死亡中位の場合) 4

社会保障の給付と負担の現状

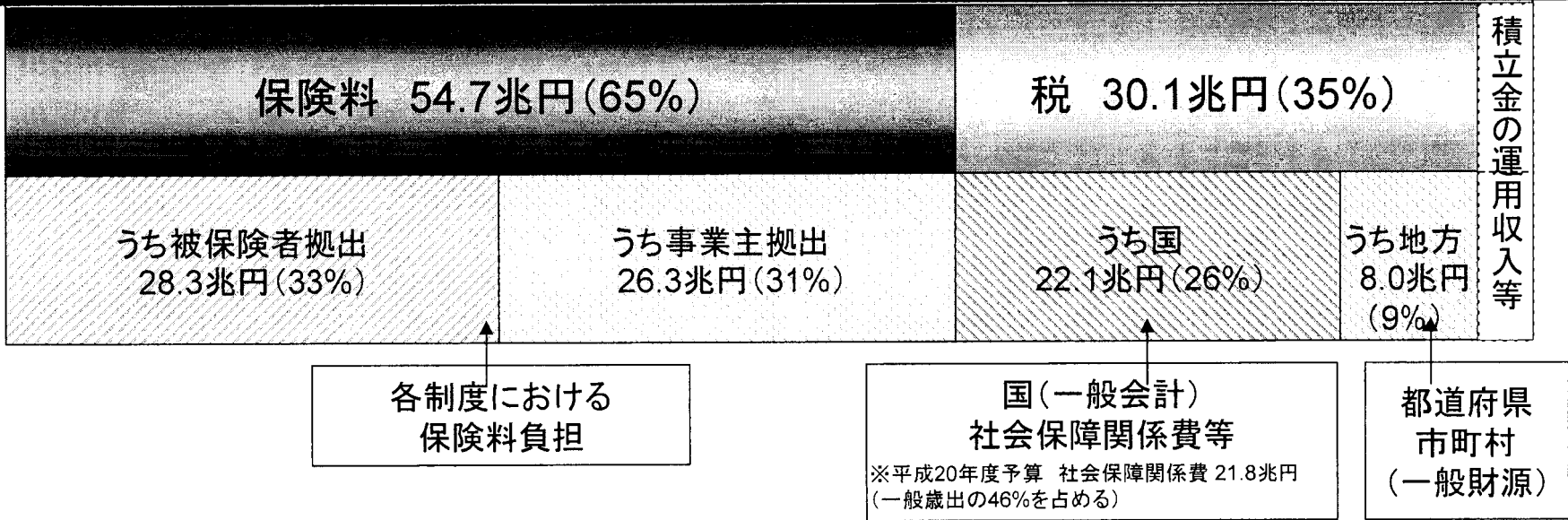
資料5

社会保障給付費 平成17年度(実績) 87.9兆円 (対国民所得比 23.9%)

【給付】

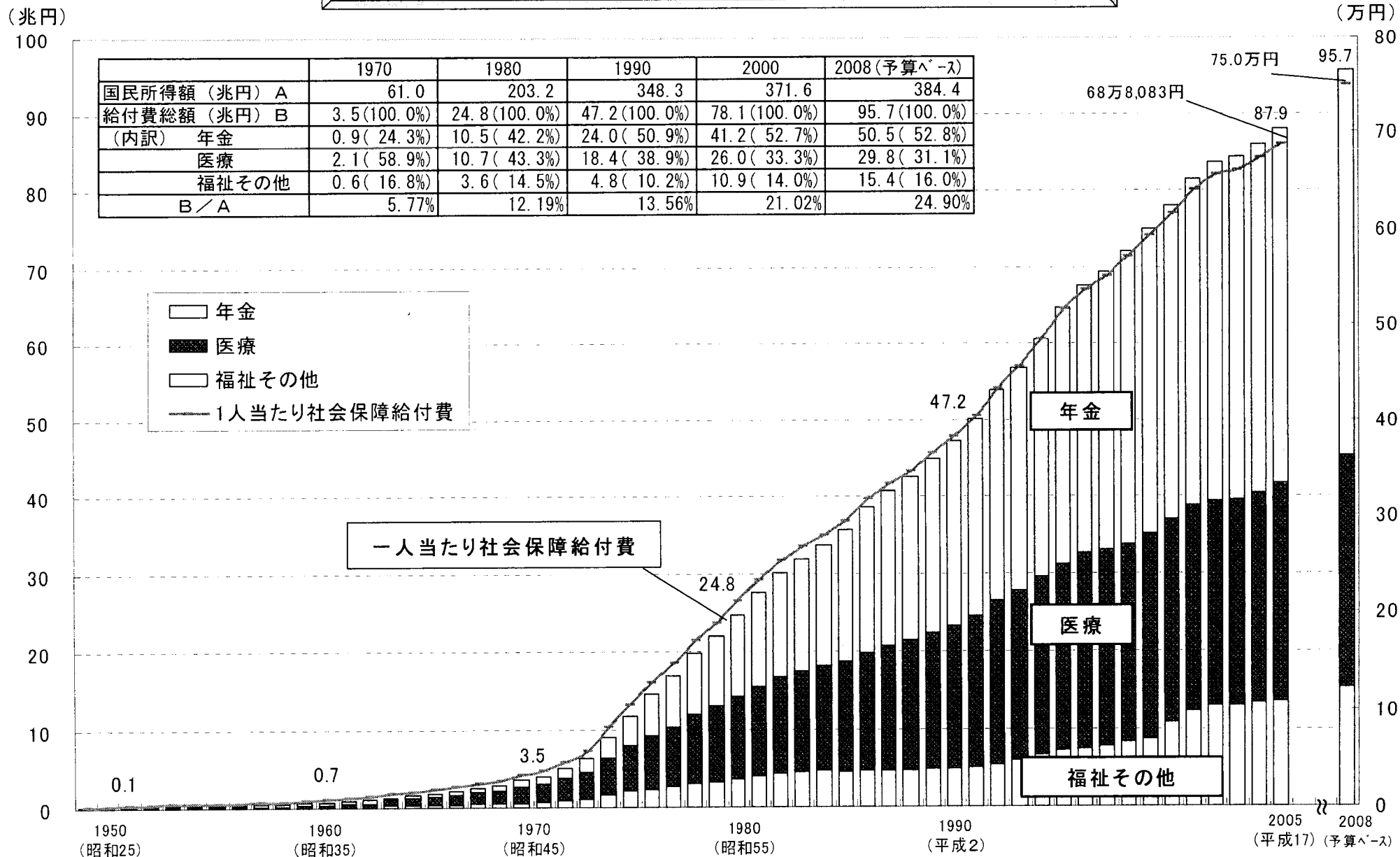


【負担】



※ 社会保障給付の財源としてはこの他に資産収入などがある

社会保障給付費の推移



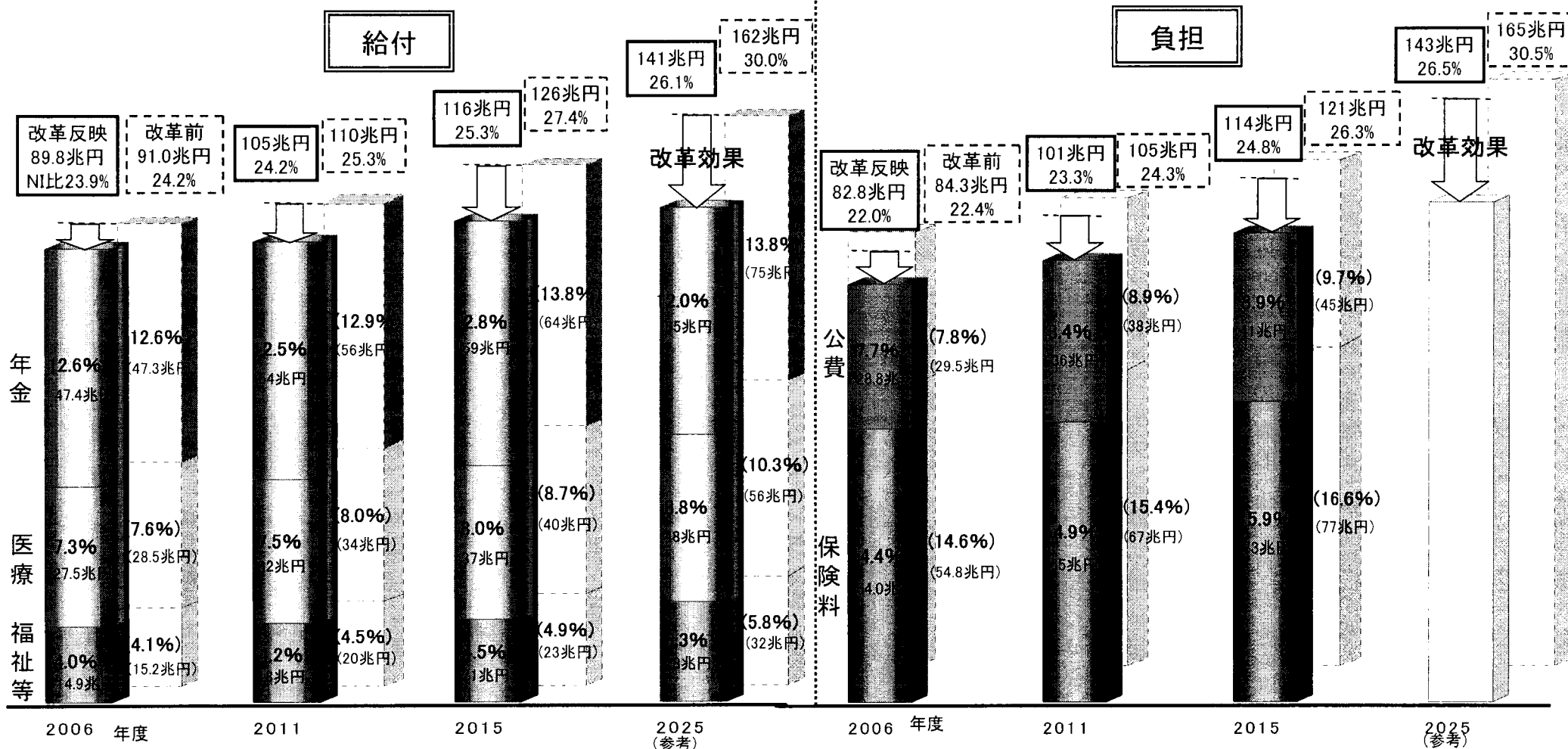
資料: 国立社会保障・人口問題研究所「平成17年度社会保障給付費」、2008年度(予算ベース)は厚生労働省推計

(注1) 図中の数値は、1950,1960,1970,1980,1990及び2005並びに2008年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

社会保障の給付と負担の見通し（平成18年5月推計）

資料7-1

○少子高齢化の進行に伴い、社会保障給付及びその負担は年々増加していくが、平成16年の年金制度改革、平成17年の介護保険制度改革、平成18年の医療制度改革により効率化を図った結果、社会保障給付及びその負担は将来にわたって抑制される見通し。

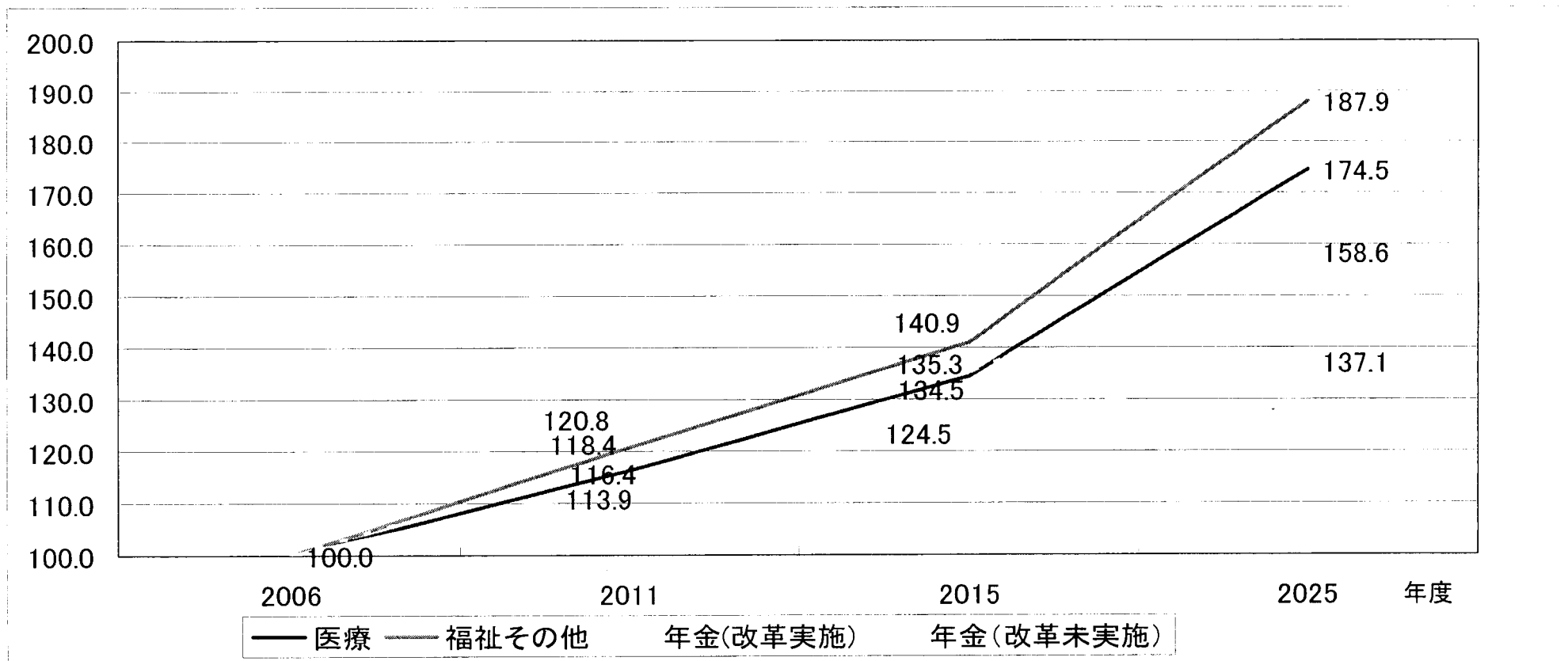


注1) 前面のグラフは、2004年年金制度改革、2005年介護保険制度改革及び2006年医療制度改革の効果を織り込んでいる(改革反映)。

背面のグラフはこれらの改革が行われなかった場合(改革前)。

注2) 公費は、2009年度に基礎年金国庫負担割合が1/2に引き上げられたものとしている。

2006年度の年金、医療、福祉その他の給付を100とした場合の2011年度から2025年度にかけての給付の伸びは以下のとおり。



(注) 社会保障の給付と負担の見通し(平成18年5月)を基に作成